

研究課題名	肩甲骨肩甲上切痕の形態と腱板断裂の関係
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科整形外科学 教授 安達 伸生
研究期間	実施許可日 ～ 2025年12月31日
対象者	2012年8月から 2022年12月の間に、広島大学病院整形外科で肩腱板断裂による治療を受けられた患者さん
意義・目的	肩甲骨の肩甲上切痕に骨化が生じた場合、肩甲上神経に障害が発生する可能性があるということが明らかになっていますが、腱板断裂の発生との関連についてはまだ解明されていません。本研究によってこの関連が明らかになれば、将来腱板断裂が発生するという予測が可能となり、臨床の場において大きく貢献できると考えられます。今回 CT と MRI を用いて、この肩甲上切痕の形態と腱板断裂の発生との関連を明らかにします。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は手術日、年齢、性別、患側、利き手、職業、エコー所見、CT および MRI データです。 取得した試料や試料・情報は、氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。
共同研究機関	ありません
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科 教授 安達 伸生
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5232

広島大学大学院人工関節・生体材料学講座 准教授 横矢 晋